

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3535
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3041	1	担当部課名	環境部環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業				
財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民、事業者				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	・各種主体との協働事業の実施、しくみ作り ・計画の進捗にかかる調査(環境保全審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定 ・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など				
事業の目的【どのような結果を得るか】	平成22年度に策定した「池田市新環境基本計画」を市民、事業者、行政等の協働により推進する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限(平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		910		875		1,026		
内 訳	人件費(人・千円)	0.60	3,660	0.90	3,840	0.90	7,020	0.90	7,020	100.0%
	正職員	0.40	3,200	0.30	2,400	0.90	7,020	0.90	7,020	300.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.20	460	0.60	1,440		0		0	0.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		4,570		4,715		8,046		8,077	170.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		2		1					0.0%
	一般財源		4,568		4,714		8,046		8,077	170.7%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区 分	内 容	単 位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の温室効果ガス排出量の削減	%	24	41	集計中	30	30
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内のごみ排出量の削減	%	4	4	3	10	10
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	本事業は「総合的な環境施策の推進」の根幹をなすものである。22年度には「新環境基本計画」において新たな目標を掲げ、市民、事業者との協働体制を確立させるとともに、継続的な施策の実施が必要である。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	環境基本計画の進捗状況等に関する調査業務は、既に外部へ委託し効率化を図っている。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
「新環境基本計画」の目標実現に向け、市民、事業者が主体的に活動できるよう、基礎的な情報の把握、分析、発信、共有に努め、協働体制の確立をめざし、「いけだ・かんきょうレポート」の充実を図る。	「新環境基本計画」の推進に向け、市民、事業者、行政のパートナーシップを強化するとともに、各主体の役割を定着させることが必要である。今後も継続的に状況を把握し、情報の共有、協働体制の確立に努める。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3569
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3041	2	担当部課名	環境部環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業				
財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民、事業者				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境教育等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい社会を形成する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23
	事業費(千円)		7,830		15,899		19,367		23,202	121.8%
	人件費(人・千円)	0.40	3,200	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
内訳	正職員	0.40	3,200	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		11,030		17,499		20,927		24,762	119.6%
財源	国・府支出金				1,355		1,725		2,250	127.3%
	受益者負担 B									-
	その他財源		7,830		14,544		17,642		20,952	121.3%
	一般財源		3,200		1,600		1,560		1,560	97.5%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	85	130	167	130	-
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	非住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	-	-	7	10	-
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	低炭素社会の実現に向け、太陽光発電システムの導入に対する補助や環境学習など更なる施策の充実を図る必要があるため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	環境学習の実施については、外部への一部委託が可能である。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
太陽光発電の普及は、社会情勢等も後押しし順調に進んでいる。引き続き太陽光発電等の更なる普及拡大を図るとともに、環境学習の強化に向けた新たなしくみづくりを構築していく。	太陽光発電の普及は、社会情勢等も後押しし順調に進んでいる。今後は太陽光発電等の更なる普及拡大に向け、新たな展開を検討するとともに、環境学習の強化が必要と考える。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業		
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3041	担当部課名	都市建設部 道路課
		担当課長名	佐々木久人

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり		
第1期実施計画の事業名			
財務会計上の事業名	街路灯LED化事業		
事業の対象【誰(何)を】	市内の街路灯		
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市内の街路灯を地域別、機種別にてLEDに交換する。		
事業の目的【どのような結果を得るか】	電気代の削減及び修繕料の削減		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)		
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施		
	※見直し内容を記入		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
	※根拠となる法令の条項までを記入		

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)						8,189		9,202	-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.28	2,184	0.68	3,204	-
内訳	正職員		0		0	0.28	2,184	0.18	1,404	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.50	1,800	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		0		0	10,373		12,406	-	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		0		0	10,373		12,406		-
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		器具取付工事	基			1,200	1,100
(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 街路灯の経年劣化により球切れ、故障等が多い。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 街路灯の交換区域を選考し業者に委託している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 電気代及び修繕料の削減につながり、今後とも継続する。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
--	--------------------------

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3570
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	1	担当部課名	環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業				
財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民、市民団体				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進				
事業の目的【どのような結果を得るか】	ごみ減量化と資源化を推進する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成17年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	小規模団体の意欲向上に向け、10ト未満の団体に2万円の下限(100ト以上の団体には20万円の上限)を設けた。				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市集団回収奨励金交付要綱				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)		5,822		5,939		5,645		6,099	95.0%
	人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.45	1,800	0.45	1,680	0.45	1,680	100.0%
内訳	正職員	0.20	1,600	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.30	600	0.30	510	0.30	510	100.0%
	支出合計 A		7,422		7,739		7,325		7,779	94.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		4,779		5,939		5,645		6,099	95.0%
	一般財源		2,643		1,800		1,680		1,680	93.3%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収実施団体	団体	104	106	106	106	120
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収量	トン	1,871	1,911	1,844	1,900	2,200
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	広報誌等で新規加盟を呼びかけていく。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	回収は自治会・子ども会などがボランティアで行っている。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
集団回収は、本市リサイクル量の半分近くを占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。今後も、団体への補助を通し、その活動の継続的な実施を後押ししていく。	集団回収は、本市リサイクル量の半分近くを占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。素材の市況価格はその時々で大きく変動するが、団体への補助を通し、その活動の継続的な実施を後押ししていく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3695
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	2	担当部課名	環境部環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	指定袋制実施事業				
財務会計上の事業名	指定袋制実施事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	ごみの減量・資源化を推進し、環境負荷の少ない循環型社会づくりを進める。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成18年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	燃えるごみ用指定袋の無料配布制度を縮小。乳幼児世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に限定。				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 第7条の2				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)		65,446		60,886		41,517		66,872	68.2%
	人件費(人・千円)	2.95	11,400	2.15	8,800	2.15	8,230	2.15	8,230	100.0%
内訳	正職員	0.95	7,600	0.75	6,000	0.75	5,850	0.75	5,850	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	2.00	3,800	1.40	2,800	1.40	2,380	1.40	2,380	100.0%
	支出合計 A		76,846		69,686		49,747		75,102	71.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B		65,446		60,886		41,517		66,872	68.2%
	その他財源									-
	一般財源		11,400		8,800		8,230		8,230	93.5%
	受益者負担率 B÷A		85.17		87.37		83.46		89.04	95.5%

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内のごみ排出量	トン	33,343	33,490	32,511	32,000	31,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	制度改正により一定の減量効果が見られるため、動向を注視する。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	指定販売店からの指定袋販売手数料の収納事務。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 18年度の指定袋制導入および24年度の無料配布制度縮小により、ごみ排出量の削減には一定の効果は見られているが、更なるごみの減量およびリサイクル率の向上を目指すため、3Rの促進を図る。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 18年度の指定袋制導入により、ごみ排出量の削減には一定の効果が見られた。ここ数年は横ばい傾向が続いているため、24年度以降は制度の改正とともに3Rの促進を図り、更なるごみの減量およびリサイクル率の向上を目指す。
---	---

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	3585	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	4	担当部課名	環境にやさしい課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり
第1期実施計画の事業名	家電リサイクル推進事業
財務会計上の事業名	家電リサイクル推進事業
事業の対象【誰(何)を】	市民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	不法投棄された特定家電4品目の処理を委託。 不法投棄防止のPR、各種団体との連携、パトロールなど
事業の目的【どのような結果を得るか】	不法投棄された特定家電4品目を適正に処理する。 市民に適正排出を促し、リサイクルの推進を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成13年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	家電リサイクル法

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)		116		177		92		7,665	52.0%
	人件費(人・千円)	0.25	2,000	0.15	1,200	0.15	1,170	0.14	1,092	100.0%
内 訳	正職員	0.25	2,000	0.15	1,200	0.15	1,170	0.14	1,092	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		2,116		1,377		1,262		8,757	91.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源								7,665	-
	一般財源		2,116		1,377		1,262		1,092	91.6%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定家電4品目不法投棄台数	台	67	57	30	30	30
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	家電リサイクル推進事業に容器包装リサイクル法関係を組み込んでリサイクル推進事業とし、一体的な運用を行う。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	処分業者との契約や警察との調整などが主な業務であるため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
容器包装リサイクル法の施行から15年以上、家電リサイクル法の施行から10年以上が経過し、市民の間にリサイクルの意識が定着してきている。国ではさらなるリサイクル率の向上を目指しており、その動向を見据えながら各種リサイクル施策を実施していく。	家電リサイクル法の施行から10年以上が経過し、特定家電の不法投棄は減少傾向にある。23年7月からの地デジ化によりテレビの不法投棄の増加も見られるため、今後も引き続き啓発を行っていく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3579
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	5	担当部課名	環境部環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業				
財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民、事業者				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する、				
事業の目的【どのような結果を得るか】	レジ袋の排出抑制をはじめとする3Rの推進ならびに、ごみの減量化をめざす。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成18年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		300	300	200	100	66.7%		
内訳	人件費(人・千円)	0.15	1,200	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
	正職員	0.15	1,200	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	-			
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	-			
	非常勤職員		0	0	0	0	-			
	アルバイト		0	0	0	0	-			
支出合計 A		1,500	1,500	1,370	1,270	91.3%				
財源	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源	1,500	1,500	1,370	1,270	91.3%				
受益者負担率 B÷A						-				

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	各種イベント時における啓発活動	回	2	2	4	5	6
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	レジ袋削減・マイバッグを中心とした減量啓発活動の継続的な実施により、ごみの減量化を進める必要があるため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	市内事業所・北摂市町村・学校などとの連携が必要であるため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
ごみ減量化を推進していくため、市民団体や事業者と連携し、環境教育活動にも力を入れ展開していく。	子どものころから環境に対する興味を持たせるよう、環境教育活動にも力を入れていく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	800	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	6	担当部課名	環境部環境にやさしい課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業			
財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業			
事業の対象【誰(何)を】	市民			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施			
事業の目的【どのような結果を得るか】	市内11小学校区に無人・無施錠の本棚を設置し、24時間無料で貸し出す。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成元年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会補助金交付要綱			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		100	100	100	300	100.0%		
内 訳	人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.20	1,600	0.06	468	0.06	468	30.0%
	正職員	0.20	1,600	0.20	1,600	0.06	468	0.06	468	30.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	-		0	-
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	-		0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	-		0	-
	アルバイト		0	0	0	0	-		0	-
支出合計 A			1,700	1,700	568	768	33.4%			
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,700	1,700	568	768	33.4%			
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)	
	(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古本回収量	冊	8909	7156	5025	5000	5000
	(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	広報誌等で積極的に呼びかけを行っていく。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	管理運営はまち角に図書館をつくる運動実行委員会がボランティアで行っている。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
まち角図書館は全11小学校に設置され、多くの市民に利用されている。引き続きまち角図書館実行委員会と連携のもと、市民への本の再利用や読書への普及啓発を図っていく。	

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()	財務会計上の短縮番号 3450
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	8	担当部課名	環境部 業務センター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	ごみ収集事業			
財務会計上の事業名	ごみ収集事業			
事業の対象【誰(何)を】	生活系一般廃棄物			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	分別収集と指定日収集			
事業の目的【どのような結果を得るか】	多様化するごみの組成に対応し、収集作業の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、収集車両の適正管理に努める			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成24年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入	「粗大ごみ・燃えないごみ」「紙類ごみ」の収集業務について、平成24年度より業者に委託			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	
※根拠となる法令の条項までを記入	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条・第6条			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)	14,792		17,718		63,374		65,359		357.7%
	人件費(人・千円)	66.70	431,300	67.70	420,800	59.00	329,000	59.00	321,000	87.1%
内訳	正職員	47.70	381,600	45.70	365,600	35.00	273,000	34.00	265,200	76.6%
	再任用短時間勤務職員	8.00	28,800	7.00	25,200	8.00	28,800	7.00	25,200	114.3%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	11.00	20,900	15.00	30,000	16.00	27,200	18.00	30,600	106.7%
	支出合計 A	446,092		438,518		392,374		386,359		89.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	3,717		3,656		4,420		4,182		120.9%
	一般財源	442,375		434,862		387,954		382,177		89.2%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ごみ収集量	t	19,796	19,901	19,335	18,839	18,247
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	ごみの分別収集の徹底による減量化ならびに収集作業の効率化を図る
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	「粗大ごみ・燃えないごみ」「紙類ごみ」の収集業務について、平成24年度より業者に委託しており、現在は検証期間としている

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
24年度より一部の収集業務を民間に委託しており、順調に業務が遂行されているところ。 現在の状況を検証し、他の業務における民間委託化を検討。	24年度より一部の収集業務を民間に委託しているが、これをよく検証し次のステップへ移行していく必要がある

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()	財務会計上の短縮番号 3450
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	9	担当部課名	環境部 業務センター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	し尿収集事業			
財務会計上の事業名	し尿収集事業			
事業の対象【誰(何)を】	下水道未接続の便槽・浄化槽			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	し尿の定期収集と臨時収集および浄化槽の清掃と保守点検の実施			
事業の目的【どのような結果を得るか】	し尿収集の効率化を図るとともに、収集車両の適正管理に努める			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条・第6条				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		839		933		826		
内 訳	人件費(人・千円)	2.00	16,000	2.00	16,000	2.20	17,160	2.20	17,160	110.0%
	正職員	2.00	16,000	2.00	16,000	2.20	17,160	2.20	17,160	110.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			16,839		16,933		17,986		18,189	106.2%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		839		933		826		1,029	88.5%
	一般財源		16,000		16,000		17,160		17,160	107.3%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	定期・臨時・公共収集	件	317	278	247	280	300
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	浄化槽清掃	件	61	54	75	60	60
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 し尿収集の効率化と安全作業の推進に努める
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補償をおこなって全市直営収集を実施した経緯があるため

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
下水道普及率は99%となっているものの、一部の地域や臨時収集など継続して事業を実施する必要がある	下水道普及率は99%となっているものの、一部の地域や臨時収集などで継続して事業を実施していく必要がある

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()	財務会計上の短縮番号 3675
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	10	担当部課名	環境部クリーンセンター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	ごみ処理事業			
財務会計上の事業名	ごみ処理事業			
事業の対象【誰(何)を】	市民及び市内事業者			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	焼却処理、破砕処理、ペットボトル減容等一般廃棄物の受入と処理			
事業の目的【どのような結果を得るか】	一般廃棄物の焼却とリサイクルを公害防止を図りながら進め、廃棄物を適性に処理する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		117,675		117,903		119,846		
人件費(人・千円)		29.00	216,720	29.30	209,800	29.50	210,540	29.50	206,340	100.7%
内訳	正職員	27.00	216,000	24.80	198,400	26.20	204,360	25.20	196,560	105.6%
	再任用短時間勤務職員	0.20	720	1.50	5,400	0.30	1,080	1.30	4,680	20.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	3.00	6,000	3.00	5,100	3.00	5,100	100.0%
支出合計 A			334,395		327,703		330,386		347,079	100.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		43,977		52,332		64,559		102,634	123.4%
	一般財源		290,418		275,371		265,827		244,445	96.5%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物の処理	t	31,472	31,579	30,667	31,000	30,001
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由	排ガス基準を遵守し、適正に処分ができています。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	今後、職員の自然減に対応して、民間委託の検討が必要。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
施設の延命化と合わせて、将来計画の検討を行う必要がある。また、職員の自然減の対応として、業務の見直しと民間委託への移行の検討も必要。	施設の延命化等の設備面での対応を実施すること、また、あわせて運転管理の民間委託化の検討を進めていく必要がある。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3675
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	11	担当部課名	環境部 クリーンセンター	
				担当課長名	中村 昌史

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	ごみ処理事業				
財務会計上の事業名	ごみ処理事業				
事業の対象【誰(何)を】	資源物及び粗大ごみ・不燃物、焼却灰				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理、一般廃棄物の最終処分についての業務を委託して実施する。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	再資源化を促進し、循環型社会の形成に寄与する				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		113,312		109,094		118,017		
内 訳	人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	正職員	0.30	2,400	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			115,712		111,494		120,357		123,774	107.9%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		115,712		111,494		120,357		123,774	107.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物の処理	t	31,472	31,579	30,667	31,000	30,001
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 市単独の処分場を持っていないため、本事業は必要である
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 本事業については、すべて委託によるものである。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
現在の最終処分場の延命化のため、一般廃棄物処理基本計画に基づき、引き続きごみの減量に努めているところ。 次期最終処分場の検討期間のためにも、更なるごみの減量に努めていく。	最終処分場(大阪湾フェニックス)の延命化のため、一般廃棄物基本計画に基づき、ごみの減量に努めているところである。 今後、次の最終処分場の計画を実現するためには、更なるごみの減量が必要である。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	12	担当部課名	環境部クリーンセンター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	クリーンセンター管理事業			
財務会計上の事業名	クリーンセンター管理事業			
事業の対象【誰(何)を】	市民及び市内事業所			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	施設の保守点検、上下水道の使用量及び日用消耗品の管理等			
事業の目的【どのような結果を得るか】	クリーンセンターを適切に効率よく管理する			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
	※見直し内容を記入			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
	※根拠となる法令の条項までを記入 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		7,457	8,305	8,014	9,034	96.5%		
人件費(人・千円)		1.00	5,800	1.00	5,800	0.80	6,240	0.80	6,240	80.0%
内訳	正職員	0.50	4,000	0.50	4,000	0.80	6,240	0.80	6,240	160.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,800		0		0	0.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			13,257		14,105		14,254		15,274	101.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		73		73		74		65	101.4%
	一般財源		13,184		14,032		14,180		15,209	101.1%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物の処理	t	31,472	31,579	30,667	31,000	30,001
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	適切に管理できている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	直営で管理していくのが適当である。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
直営で効率的に運転管理に努めていくことが必要。	直営で継続して効率的な運転管理に努めるべきである。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	13	担当部課名	環境部クリーンセンター
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	クリーンセンター運営事業			
財務会計上の事業名	クリーンセンター運営事業			
事業の対象【誰(何)を】	市民及び市内事業所			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	車両の維持修繕、事務機器の借り上げ等			
事業の目的【どのような結果を得るか】	クリーンセンターを適切に効率よく運営する			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		1,330	1,332	1,770	1,500	132.9%		
人件費(人・千円)		3.40	10,600	3.40	10,800	0.40	3,400	1.80	7,940	11.8%
内 訳	正職員	0.40	3,200	0.40	3,200	0.00	0	0.80	6,240	0.0%
	再任用短時間勤務職員	1.00	3,600	1.00	3,600		0		0	0.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	2.00	3,800	2.00	4,000	2.00	3,400	1.00	1,700	100.0%
支出合計 A			11,930		12,132		5,170		9,440	42.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		0		0		0		0	-
	一般財源		11,930		12,132		5,170		9,440	42.6%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物の処理	t	31,472	31,579	30,667	31,000	30,001
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	適切に運営できている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	直営で管理していくのが適当である。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
直営で効率的に運営に努めていくことが必要。	直営で継続して効率的な運営に努めるべきである。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3690
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	14	担当部課名	環境部クリーンセンター	
				担当課長名	中村昌史

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業				
財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民及び市内事業者				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	焼却処理、破砕処理、ペットボトル減容等一般廃棄物処理施設の維持補修を行う。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	一般廃棄物の焼却とリサイクルを公害防止を図りながら進め、廃棄物を適性に処理する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		210,045		249,934		259,769		
人件費(人・千円)		1.00	3,600	1.00	3,600	0.90	4,920	0.90	4,920	90.0%
内 訳	正職員	0.00	0	0.00	0	0.40	3,120	0.40	3,120	-
	再任用短時間勤務職員	1.00	3,600	1.00	3,600	0.50	1,800	0.50	1,800	50.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
支出合計 A			213,645		253,534		264,689		254,920	104.4%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		0		0		0		0	-
	一般財源		213,645		253,534		264,689		254,920	104.4%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	適切な廃棄物の処理	t	31,472	31,579	30,667	31,000	30,001
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	排ガス基準を遵守し、適正に処分ができています。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	施設の老朽化が進む中で機能保持を進めていくためには、設備メーカー並びに直営による事業実施が望ましい。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
現在、平成30年度を目標として長期保全計画に基づき、事業を推進しているが、設備機器の老朽化は否めなく、抜本的な検討が必要と考える。	(昨年度は対象外事業扱い)

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計()	<input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号 3630
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3042	15	担当部課名 環境部 クリーンセンター	担当課長名 中村 昌史

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業			
財務会計上の事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業			
事業の対象【誰(何)を】	一般廃棄物の焼却に伴う焼却灰・ばいじん・不燃物			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	大阪湾フェニックス計画の事業進捗状況に応じた工事負担金の支出を行う			
事業の目的【どのような結果を得るか】	最終処分場確保のため、大阪湾広域臨海環境整備センターが行う大阪湾圏域広域処分整備事業(大阪湾フェニックス計画)に参画する			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～)		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	
※根拠となる法令の条項までを記入	広域臨海環境整備センター法			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23
		事業費(千円)	569		3,399		2,024		248	
人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%	
内訳	正職員	0.20	1,600	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,169		4,999		3,584		1,808		71.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,169		4,999		3,584		1,808		71.7%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物最終処分場での処理	t	4,807	4,774	4,829	4,800	4,446
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 市単独の処分場を持っていないため、本事業は必要である
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続	
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 本事業については、すべて委託によるものである。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

現在の最終処分場の延命化のため、一般廃棄物処理基本計画に基づき、引き続きごみの減量に努めているところ。次期最終処分場の検討期間のためにも、更なるごみの減量に努めていく。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 最終処分場(大阪湾フェニックス)の延命化のため、一般廃棄物基本計画に基づき、ごみの減量に努めているところである。今後、次の最終処分場の計画を実現するためには、更なるごみの減量が必要である。
--	--

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3560
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3043	1	担当部課名	環境部環境をまもる課	
				担当課長名	岩崎 隆

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	環境監視対策事業				
財務会計上の事業名	環境監視対策事業				
事業の対象【誰(何)を】	工場、事業場				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業所に対して立入り調査をし、規制基準の遵守の確認・指導を行う。また、市民からの公害苦情の解決に努める。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	公害発生の抑制と環境基準の達成				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	水質汚濁防止法、騒音規制法及び市条例等				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		2,410	2,030	3,477	5,027	171.3%		
内 訳	人件費(人・千円)	0.25	2,000	0.45	2,980	0.61	3,480	0.60	3,696	135.6%
	正職員	0.25	2,000	0.35	2,800	0.34	2,652	0.40	3,120	97.1%
	再任用短時間勤務職員		0	0.05	180	0.23	828	0.16	576	460.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	管理公社職員		0	0.05	0	0.04	0	0.04	0	80.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			4,410	5,010	6,957	8,723	138.9%			
財 源	国・府支出金				572	600	-			
	受益者負担 B						-			
	その他財源						-			
	一般財源		4,410	5,010	6,385	8,123	127.4%			
受益者負担率 B÷A							-			

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水質、騒音等の測定	回	50	50	50	50	50
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工場・事業所への立入り調査	回	20	29	2	5	5
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市民からの苦情の解決	件	39	65	53	45	45
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	工場・事業所に対して立入り調査は、権限移譲により主に広域環境をまもる課で各法令に基づき行っている。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理に努めている。処理内容は必ず苦情者に伝えた承を得ている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	水質、騒音の測定を業者に委託し、定期的実施している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
水質、騒音等の測定では、概ね環境基準を満たしている。今後も測定や工場・事業所への立入り調査を継続して行い、環境監視に努める。公害苦情については、市民ニーズの多様化への対応が必要。	アスベスト、ダイオキシン等、各種公害に対する市民の関心の高まりに伴い、市民ニーズの高度化・多様化への対応が必要。事業所に対して、法令遵守の確認、指導の徹底を図る。公害苦情については、原因事象(野焼きなど)の減少施策の推進が必要であると考え。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()	財務会計上の短縮番号 3555
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3043	2	担当部課名	環境部環境をまもる課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり			
第1期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業			
財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業			
事業の対象【誰(何)を】	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。			
事業の目的【どのような結果を得るか】	市内の大気汚染の状況を把握する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	
<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		4,544		4,755		6,163		
内 訳	人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.15	1,200	0.20	1,224	0.17	1,158	133.3%
	正職員	0.20	1,600	0.15	1,200	0.12	936	0.13	1,014	80.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.08	288	0.04	144	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			6,144		5,955		7,387		7,962	124.0%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		4545		4755		6,163		6,804	129.6%
	一般財源		1,599		1,200		1,224		1,158	102.0%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	神田局大気観測	回	24	24	24	24	24
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	木部・新宅局大気観測	回	24	24	24	24	24
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 概ね環境基準を満たしている。平成24年度から測定を開始したPM2.5(微小粒子状物質)は昨今問題視されており、市民からの問い合わせも多い。今後も注意する必要がある。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 大気観測局の維持管理や臨時点検を業者に委託している。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
神田局において、PM2.5の監視システムを構築し大気汚染監視の充実化を図った。これまで同様基金の効率的な運用に努める。	本事業は大気観測局管理基金により実施しており、今後も長期にわたり実施できるよう、基金の効率的な運用が必要である。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	3565
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3043	3	担当部課名	環境部環境にやさしい課	
				担当課長名	板谷 実

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり				
第1期実施計画の事業名	環境美化推進事業				
財務会計上の事業名	環境美化推進事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	「池田のまちを美しくする運動」としてごみゼロデー、清掃デーを実施するなど、環境美化事業の実施と広報等各種啓発により多くの住民の参加を図る。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	環境美化に対する市民の意識の高揚を図る。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		39	19	74	1,226	389.5%		
人件費(人・千円)		0.45	3,600	0.40	2,600	0.40	1,900	100.0%		
内訳	正職員	0.45	3,600	0.30	2,400	0.20	1,560	0.20	1,560	66.7%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	-	
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	-	
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	-	
	アルバイト		0	0.10	200	0.20	340	0.20	340	200.0%
支出合計 A			3,639	2,619	1,974	3,126	75.4%			
財源	国・府支出金								-	
	受益者負担 B								-	
	その他財源				68	1200	-			
	一般財源		3,639	2,619	1,906	1,926	72.8%			
受益者負担率 B÷A								-		

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	清掃デー参加人数	人	4,500	5,425	4,998	5,500	6,500
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	まちの美観のさらなる向上を目指し、平成24年度より、ごみ散乱防止ケージへの補助制度を新設。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	清掃は自治会・子ども会などがボランティアで実施。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
従来の清掃を主体とした環境美化に加え、平成24年度から「ごみ散乱防止ケージへの補助制度」を導入してカラス被害によるごみ散乱を防止し、各種団体との連携により地域の環境美化活動を展開していく。	従来の自治会などによる清掃活動に加え、中学生・高校生なども地域の清掃活動を実施している。本市としては、ごみゼロデー・清掃デーなどを通し、地域の環境美化に目を向けるためのきっかけづくり・後押しを行っていく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	3562	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	担当部課名	環境部環境にやさしい課		
	担当課長名	板谷 実		

1 事務事業の概要

施策名	環境にやさしいまちづくり		
第1期実施計画の事業名	記載なし		
財務会計上の事業名	ふくまるカーシェアリング事業		
事業の対象【誰(何)を】	市民、事業者		
事業の手段【どうする(させる)ことで】	複数の会員が共同で車を利用するカーシェアリングの導入		
事業の目的【どのような結果を得るか】	車の過剰な利用を抑制することによって温室効果ガスの排出を削減し、低炭素社会の構築を図る。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限(平成 年度~平成 年度)		
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠となる法令の条項までを記入			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)				2,318		4,578		4,413	197.5%
人件費(人・千円)		0.00	0	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
内 訳	正職員		0	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			0		4,718		6,918		6,753	146.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源				2,318		4,578		4,413	2
	一般財源		0		2,400		2,340		2,340	1
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単 位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	温室効果ガスの年間排出量削減	%	/	6	9	12
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	車両を配置した小学校区の数	小学校区	6		9	10	11
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	低炭素社会の実現に向け、環境にやさしいカーシェアリング制度の更なる普及促進を図る必要があると考えられるため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	事業の運営管理については既に外部に委託し、事業の効率化を図っている。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
カーシェアリングの登録会員数及び利用回数は順調に増加している。より効率的な運営を図るため、様々な角度から検討を行いながら、引き続きカーシェアリング制度の普及拡大を図るべきと考える。	低炭素に向けた機運が高まる中、カーシェアリングは今後も普及の拡大が見込まれる。より良い形で市民サービスを提供していくため、利用者のニーズや社会情勢の把握に努め、柔軟に対応していくことが重要と考える。